

廃炉基盤研究プラットフォームの運営見直しについて

令和元年 7 月 16 日
令和 2 年 1 月 15 日改定
令和 2 年 8 月 20 日改定
廃炉環境国際共同研究センター

1. はじめに

- ・ 1F 格納容器内の内部調査が進捗するとともに、1F で採取された試料の実データが蓄積されつつあること、2021 年以降の燃料デブリの試験取出しが予定されていることなど、1F 廃炉に向けて進展が見られ、これらの状況を踏まえて研究を進める必要があること。
- ・ 基礎・基盤研究については、成果を日本原子力研究開発機構（以下、「JAEA」という。）廃炉国際共同研究センター（以下、「CLADS」という。）に集約することを目的として、文部科学省が実施していた「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」（以下、「英知事業」という。）を令和 2 年度より、JAEA/CLADS が英知事業の主体となり、このことを踏まえた運営が図られている。
- ・ 一方、CLADS では平成 30 年度に「基礎・基盤研究の全体マップ」（以下、「研究マップ」という。）の整備に着手し、廃炉基盤研究プラットフォームのレビューを通じ研究戦略として機能している。
- ・ 廃止措置研究・人材育成等強化プログラムが令和元年度で終了したが、次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス（NDEC）については、継続実施とそのため予算確保等の要請が前回の廃炉基盤研究プラットフォーム運営会議においてなされた。
- ・ 2015 年 12 月に第 1 回廃炉基盤研究プラットフォーム運営会議を開始以来、約 5 年が経過した。
- ・ 上記を踏まえ、廃炉基盤研究プラットフォーム（以下、「プラットフォーム」という。）の今後の運営を抜本的に見直す。

2. プラットフォームの目的

プラットフォームは、廃炉に関する基礎・基盤研究の推進を図ることを目的とする。

具体的な活動として下記を考慮する

- 1) 基礎・基盤研究に関する情報共有
- 2) 基礎・基盤研究戦略への提言
- 3) 研究人材育成事業の展開
- 4) その他、プラットフォームで必要と判断された事項

3. プラットフォームの活動体制と構成員

(1) プラットフォーム企画委員会（仮称）

東京電力ホールディングス株式会社福島第一廃炉推進カンパニー福島第一原子力発電所の廃炉に向け、大学等の研究機関と連携し、基礎・基盤研究並びに研究を通じた人材育成に係る取組を推進する「廃炉基盤研究プラットフォーム」活動の企画及び運営方針を検討することを目的とし、プラットフォームの活動について、活動方針、活動体制、活動計画及び活動状況の把握等を協議するため、プラットフォーム企画委員会を設置する。構成員は廃炉基礎基盤研究に対して、俯瞰的な立場から議論に参画いただける方を CLADS センター長が指名する（5名程度）。

構成員には、「1F 廃炉研究に係る研究人材育成検討委員会（仮称）」委員長を含める。

次に掲げる事項について協議等を行う。

- (1) 廃炉基盤研究プラットフォームの取組に係る企画及び運営方針に関する事項
- (2) 基礎・基盤研究の情報共有に関する事項
- (3) 基礎・基盤研究戦略への提言に関する事項
- (4) 人材育成の取組に関する事項
- (5) その他、必要な事項

(2) 1F 廃炉研究に係る研究人材育成検討委員会（仮称）

東京電力ホールディングス株式会社福島第一廃炉推進カンパニー福島第一原子力発電所の廃炉に関する基礎・基盤研究を通じた研究人材育成に関する取組の推進に資することを目的とする。

構成員は、以下の通り。

- ・文部科学省及び原子力機構による英知事業の廃止措置研究・人材育成等強化プログラムの採択者

(注) 文部科学省によるプログラムは昨年度で終了したが、事業終了後も廃炉に係る基礎・基盤研究の全体を俯瞰した研究及び人材育成に係る活動を継続して実施することから採択者の参加を要請する。

(注) 研究人材育成を目的とした学生のための NDEC については、これまでのプログラムの採択者による自主的な活動を継承する観点から、採択者の実行委員会への参加を要請する。

- ・ JAEA による英知事業の研究人材育成型廃炉研究プログラムの採択者
- ・ CLADS センター長の指名するもの

- ・ 文部科学省、NDF、国際廃炉研究開発機構（以下、「IRID」という。）、東京電力ホールディングス（株）「以下、「東京電力」という。」及びその他機関は、オブザーバとして参加を可とする。

次に掲げる事項について協議等を行う。

- (1) 人材育成に関する取組の企画及び実施に関する事項
- (2) 人材育成に関する情報共有に関する事項
- (3) その他、必要な事項

(3) 分科会

CLADS が策定する研究戦略について、外部有識者の意見等を反映して、成案とするため、プラットフォームの下に分科会を設置する。

分科会は必要に応じて新設・廃止を図る。

以 上

プラットフォーム構成 (案)

基礎基盤研究プラットフォーム
(運営会議⇒企画委員会)

(～令和元年度)

(令和2年度～)

- | | | |
|---------------------------------------|---|-----------------------|
| ● 燃料デブリの経年変化プロセス等の解明
について検討する分科会 | | 「燃料デブリ等の研究に関する分科会」に統合 |
| ● 廃炉工程で発生する放射性飛散微粒子
の解明について検討する分科会 | } | |
| ● 画期的なアプローチによる放射線計測技術
について検討する分科会 | | ⇒ 継続 |
| ● 特殊環境下の腐食現象の解明について検討
する分科会 | | ⇒ (今後の方針を検討中) |
| ● 放射性物質による汚染機構の原理的解明
について検討する分科会 | | ⇒ (今後の方針を検討中) |
| ● 廃炉工程で発生する放射性物質の環境動態
について検討する分科会 | | ⇒ (今後の方針を検討中) |
| ● 1F事故進展基盤研究に関する分科会 | | ⇒ 継続 |

(令和2年度)

1F 廃炉研究に係る研究人材育成検討委
員会 (仮称)